



OKIYA ゲストハウス

置屋をリノベーション 日亜夫婦がもてなすゲストハウス

築100年の古民家をリノベーションした宿泊施設「OKIYA ゲストハウス」がオープンしたのは2020年のこと。アルゼンチン人のガブリエル・プラウルさんと桐生出身の高橋裕子さん夫婦が、路地裏に佇む元「置屋」を取得し新たなオーナーとなった。「置屋」とは芸者を抱えている家のことで、織物で栄えた桐生では、それに呼応して花柳界も華やき、最盛期には200人近い芸者がいたといわれる。

客室は2階に6畳から8畳の3部屋が用意され、いずれも和風の造り。外国人の宿泊客からも「ゲイシャ・ハウス」と人気だ。2階全体の貸切りプランもあり、団体客にも対応する。1階のタバスターは宿泊客以外も受け入れる食事処。スペインやイタリアなどの地中海料理を中心に、本格パエリアやアルゼンチンの家庭料理・エンパナーダ（ミートパイ）など、ガブリエルさんが腕を振るう。アルゼンチン大使館にもコネクションを持ち、大使館経由で仕入れる稀少ワインが楽しめるのもOKIYAならではの。また、タンゴやジャズ

などのイベントも定期的に企画し、アルゼンチンをはじめとするラテン文化の発信にも力を入れる。

日本語、英語、スペイン語に対応し、全国各地に加え、ヨーロッパやアメリカなど海外からも多くの宿泊客をもてなす。「小さな宿なのでお客さんとの距離が近くコミュニケーションを大切にしています」と高橋さん。地場産業の栄華を伝える物件で、アットホームな夫婦が桐生と世界の距離を縮める。



【OKIYAゲストハウス】

- 住所/桐生市末広町1-14
- 電話/0277-43-0048
- ★タバスター (1F)
- 営業時間/18:00~23:00 土・日曜日はランチも営業 (12:00~15:00)
- 定休日/月・火・水曜日 ※ゲストハウスは年中無休
- HP/<https://www.okiyaguesthouse.com/>  @okiyaguesthouse